

●定置式水素ステーションの供用開始について

道内初となる、バスやトラックなどの大型燃料電池車両にも水素の充填（じゅうてん）が可能な定置式水素ステーションが、4 月 1 日に供用を開始します。

札幌市では、使用時に二酸化炭素を出さず、停電時でも電気や熱を供給することができる水素エネルギーを活用した「災害に強く環境にやさしいモデル街区」（水素モデル街区）の整備を進めており、同街区における第一弾の施設となります。

このたびの水素ステーションの供用開始を契機として、さらなる水素車両の導入拡大や、市民の皆さまに水素エネルギーをより身近に感じてもらえるためのさまざまな取り組みを進めてまいります。

1 水素ステーションの概要

- (1) 施設名称：エア・ウォーター水素ステーション札幌大通東
- (2) 設置・運営者：エア・ウォーター株式会社
- (3) 供用開始日：2025 年 4 月 1 日（火）
- (4) 所在地：中央区大通東 5 丁目 12 番 22 号
- (5) 営業日：月曜日～土曜日
（定休日：日曜・祝日・年末年始）
- (6) 営業時間
平日：午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分
土曜：午前 9 時 30 分～午後 0 時 30 分



▲外観（提供：エア・ウォーター株式会社）

2 水素ステーションの特徴

- (1) 大型車両への対応

道内初となる、バスやトラック等の大型燃料電池車両にも水素の充填が可能な定置式水素ステーションとして整備。

- (2) 集客交流施設への水素供給

市民が水素エネルギーを身近に実感できる施設をコンセプトとして、水素ステーションの南側隣地に集客交流施設（※）を今後整備予定であり、同施設に設置する燃料電池等に水素を直接供給することを計画している。

※整備事業者は公募プロポーザル実施中。

【問い合わせ先】

まちづくり政策局グリーントランスフォーメーション推進室
水素事業担当課 佐藤・原田
電話：211-2424

●水素モデル街区における集客交流施設の整備について

札幌市では、使用時に二酸化炭素を出さず、停電時でも電気や熱を供給することができる水素エネルギーを活用した「災害に強く環境にやさしいモデル街区」(水素モデル街区)の整備を進めており、第二弾の施設となる集客交流施設のコンセプト等が決まりましたので、お知らせいたします。

同施設は、市民の皆さまに水素エネルギーを身近な存在として実感していただくことを目的としており、隣接する水素ステーションから水素エネルギーを供給し、カフェや宿泊施設を運営する予定です。また、純水素型燃料電池や太陽光パネルの設置などにより、施設のゼロカーボン化を目指します。

今後も、水素や再生可能エネルギーを活用し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを進めてまいります

1 集客交流施設の概要

- (1) 事業予定者：株式会社土屋ホーム不動産、
株式会社じょうてつ
- (2) 完成予定時期：2028 年 3 月末
- (3) 所在地：中央区大通東 5 丁目 12 番 13、
大通東 6 丁目 12 番 22
- (4) 構造：木造 4 階建て
- (5) 延床面積：約 2,000 ㎡



▲外観パース図

2 施設コンセプト

- (1) 水素エネルギーを身近に感じてもらうための普及啓発を行う
- (2) 純水素型燃料電池や太陽光パネルを設置し、施設をゼロカーボン化
- (3) 従来の建物で必要なエネルギーから 50% 以下まで削減する ZEB Ready 以上の水準を達成
- (4) 道産木材を多く使用し、愛着が持てる建物
- (5) にぎわいの創出のため、ベーカリーカフェやシェアスペースを整備。また、都市観光の促進のため、グループ旅行やロングステイに適した宿泊施設を運営。



▲内観パース図

【問い合わせ先】

まちづくり政策局グリーントランスフォーメーション推進室
水素事業担当課 佐藤
電話：211-2424